



# WEEKLY REPORT

2007-2008 No.35 2008年3月27日

会長◆松井一郎 会長エレクト◆長野芳剛 副会長◆矢部光治  
 幹事◆長野芳剛 SAA◆山本三津子 会計◆横瀬元治 ◇広報委員長：坂井 幸  
 E-mail:zushirc@sage.ocn.ne.jp Website:http://www.zushi-rc.com/  
 例会日・第1・3木曜日 12:30~13:30 第2・4木曜日 18:30~ 第5木曜日 18:00~  
 例会場・逗子市新宿 1-3-35「カンティーナ」 TEL：046-870-6651  
 事務所・逗子市逗子 1-9-26 萬屋ビル 2F TEL&FAX：046-873-0226

本日の進行 (18:30)

もりや 様さん  
 「自然の囁き・森の彩りの唱歌童謡」  
 一次回のお知らせ—  
 4月3日(木)(18:00)  
 会員親睦旅行・職場訪問  
 (山梨・佐久方面)

## 《 第 2246 回 例会記録 2008年3月13日 》

出席報告	会員数 45名(出席免除 8名)	出席数 20名	出席率 54.05%	前回修正出席率 75.68%
ゲスト	加藤 薫氏 (神奈川大学経済学部教授)		メイクアップ：7名 (環境シンポジウム)	

### ■ 会長 談 話 松井 一郎 会長

皆様こんばんは、いよいよ地球温暖化問題シンポジウムが明日となりました。明日は、天気あまりよろしくない様ですが、会員の皆様のご協力で是非成功させたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。本日は、神奈川大学教授の加藤薫先生をお招きして、「世界遺産と町づくり」というテーマで卓話をして頂きます。加藤先生は、大学柔道部の顧問という役職で、そのよしみ？で昨年の納会の席で、卓話をお願いしたところ快くお引き受けして下さいました。一昨日メキシコから帰国したばかりで、大変お疲れのところとは思いますが、本日は宜しくお願い致します。最近町づくりでは、産・学・地域の連携による町づくり研究が各地域で行われています。神奈川大学も長野県松代町と山形県長井市に地元のNPO法人と共同で「町づくり研究所」を開設しました。街並み保存に対する住み手の意識を高め、歴史的遺産の街並みを生かした町づくりの拠点として活用され

るそうです。私達の逗子の町も歴史的遺産と風光明媚な景色、自然、町のポテンシャルを生かした町づくりを考えて行かなければなりません。今日の卓話で何かヒントが得られれば幸いです。

3月14日(金)は、どしゃ降りという悪天候の中で、地球温暖化シンポジウムが開催されました。朝、宮脇先生が突然の事故に遭い講演が出来ないとの連絡を受け心配しましたが、代役を務めて頂いた藤原先生が素晴らしいスピーチをして下さり安心しました。長坂先生、浅尾先生それぞれのテーマのもと、中味の濃い、時間の経つのも忘れる素晴らしい内容のシンポジウムでした。当日来場された方々もきっと満足して頂けたと思います。当日は会員の皆様におかれましては、受付、会場案内、舞台設営、映写、写真等それぞれの部署で大変ご苦労をおかけました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

### ■ 報 告

長野幹事：＊週報 鎌倉中央・鎌倉北  
 ＊次年度地区役員委嘱 ローターリーの友地区委員に山科誠会員、IA 地区副委員長に岩瀬浩人会員  
 石田親睦活動委員長：4/3-4 親睦旅行の会費は次週集金。  
 山本(由)新世代奉仕委員長：国際奉仕事業報告会に出席、青少年交換学生の話など有意義であった。

### 地球温暖化シンポジウム「明日の地球を考えよう」開催



三月一四日(金)  
 逗子文化プラザホール

環境シンポジウムに参加して：パネリストのご主張をうかがい人間の業の深さ痛感しました。地球温暖化現象は自然を破壊してきた文明に対する警告だと思えます。永劫回帰を信じて自然と共に暮らしてきた昔を思い、つつましい人生を考える機会でもあると思えます。(坂井 幸 記)



鎌倉市で生まれ育った私にとって逗子市はとても身近な存在であります。神奈川大学はちょうど 20 年前に平塚市にも新キャンパスを設け、現在学生約三千人を抱えています。私はこの平塚キャンパスで理学部・経済学部の学生に芸術論や美術史を教えています。

美術教育の中には様々な芸術作品を受容する社会の仕掛けを創り、作品を流通させ、的確に鑑賞する人材の育成を手がけるアート・マネージメントという分野があります。行政担当者や学芸員育成、経営者、メディア、非営利活動など幅広い分野で必要な知識を提供しており、「芸術は社会のもの」という 20 世紀の流れを反映しています。

さて私は世界の美術の中でも主に中南米美術を専門とし、古代から現代美術まで扱っています。その研究対象とするものの多くが世界遺産に登録されるようになりました。

世界遺産といえますと、鎌倉・逗子市は 1992 年に登録暫定リスト入りし本登録を待っている状態です。年間約 1900 万人、消費額約 540 億円という観光のさらなる促進剤としたいところでしょう。また UNESCO から多額の補助金がでるようなイメージがありますが、年間予

算では 4 億円弱でそれが世界約 850 の世界遺産保護活動に分配されるものです。微々たるものです。従って国や県、市の行政からの援助と市民の自助努力が鍵となります。

一般に世界遺産ブランドの賞味期限は 10 年だとされています。つまり文化遺産登録という<価値付け>の段階の次には、「何を、いかに保存し」、「どうやって使うか」という<計画>の視点が持続的発展に必須なのです。<計画>では神社・仏閣という点をいかに線、面に結びつけるかがポイントになります。面としての「景観」が重要なアクターになります。世界遺産登録された場所の衰亡は実は遺跡そのものよりも周辺環境の充実した景観にあります。逗子市の景観の原資は海ですが、海岸線をテーマパーク化し、国民に共有される「海のふるさと」という原風景を演出する戦略があれば他の世界遺産に遜色ないものになるでしょう。またすでに世界遺産登録された地域の住民アンケート調査では世界遺産登録のプラス・マイナスともに 40%台です。つまり利害が拮抗しているわけです。利益獲得者が非利益者に利益分配するシステムが構築されれば、世界遺産登録が知名度や新規住民の定着率のアップなどで逗子市に活気をもたらし、次世代へと繋ぐプラス要因が増加するのではないのでしょうか。

(神奈川大学経営学部教授)

チャリティーダンスパーティーの寄付金が「コピー機」や「ビデオカメラ」に!

昨秋 11 月 23 日(祭)社会奉仕事業の一環として開催されたチャリティーダンスパーティーの収益が障害者地域作業所ワークショップ「リプル」と知的障害者通所施設「もやい」へ寄付金として贈られた。この度その使途報告が両施設より届けられ、有益に活用されたことにより今年度の社会奉仕の成果を見ることが出来た。(矢部光治 記)



リプル・コピー機



もやい・ビデオカメラ、ビデオカメラ2台

■ ニコニコ BOX (44,000円)

松井君…加藤薫先生スピーチよろしくお願ひします。明日、地球温暖化ツボッヅムよろしくお願ひします。  
 矢部(光)君…加藤薫先生卓話よろしくお願ひします。結婚祝を頂いて。  
 長野(芳)君、毛利君、船津君、渡邊君、菊池君、坂井君…加藤様、スピーチよろしくお願ひします。  
 石田君…ようこそ加藤教授! 卓話よろしくお願ひします。  
 桐ヶ谷君…誕生祝ありがとう(3/3 生)。加藤さん、スピーチよろしく。  
 鈴木(安)君…結婚祝を頂き。ヤダネー 年をとるのは。  
 臼井君…自動車高齢者講習を初めて受けました。結婚祝を頂いて。  
 山本(由)君…家内の誕生祝を頂いて、感謝。

鈴木(安)君、藤吉君…明日の環境セミナーよろしく。  
 三宅君…環境温暖化ツボッヅムに参加できませんが、大盛會をお祈りしています。  
 福嶋君…だんだん元気になってきました。  
 桐田君…杉の子に目をやられ、皆美人に見えます。  
 山本(三)さん…花粉多すぎ目がとろけます。  
 山口君…桜の芽が大分赤くなって来ました。  
 横山君…河津桜を見てきました。  
 村田君…円高! 僕困る。  
 ニコニコ BOX 本日合計 ￥ 44,000  
 累計 ￥ 1,697,024  
 ご協力ありがとうございました。